

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

(仮称)るり温泉ホテル

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.0	
Q1 室内環境					0.40		-	3.2	
1	音環境			3.0	0.15	3.2	1.00	3.0	
	1.1 室内騒音レベル	客室騒音レベル40		3.0	0.40	4.0	0.40		
	1.2 遮音			3.0	0.40	2.6	0.40		
	1 開口部遮音性能	-		3.0	0.98	3.0	0.30		
	2 界壁遮音性能	-		3.0	0.02	3.0	0.30		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-		1.0	-	2.0	0.20		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-		3.0	-	2.0	0.20		
	1.3 吸音	-		3.0	0.20	3.0	0.20		
2	温熱環境			2.5	0.35	2.6	1.00	2.5	
	2.1 室温制御			4.0	0.50	3.4	0.50		
	1 室温	-		3.0	0.38	3.0	0.57		
	2 外皮性能	複層サッシの採用		4.0	0.25	4.0	0.43		
	3 ゾーン別制御性	細かな空調ゾーニングと冷・暖選択自由		5.0	0.38	-	-		
	2.2 湿度制御	-		1.0	0.20	3.0	0.20		
	2.3 空調方式	-		1.0	0.30	1.0	0.30		
3	光・視環境			3.4	0.25	3.6	1.00	3.5	
	3.1 昼光利用			3.6	0.30	4.2	0.30		
	1 昼光率	昼光率2.37%		4.0	0.60	5.0	0.60		
	2 方位別開口	-		-	-	3.0	-		
	3 昼光利用設備	-		3.0	0.40	3.0	0.40		
	3.2 グレア対策			4.0	0.30	4.0	0.30		
	1 昼光制御	ブラインドとバルコニーを設置		4.0	1.00	4.0	1.00		
	3.3 照度	-		3.0	0.15	3.0	0.15		
	3.4 照明制御	-		3.0	0.25	3.0	0.25		
4	空気質環境			4.0	0.25	4.2	1.00	4.1	
	4.1 発生源対策			5.0	0.50	5.0	0.63		
	1 化学汚染物質	F☆☆☆☆材料を全面的に使用		5.0	1.00	5.0	1.00		
	4.2 換気			2.0	0.30	3.0	0.38		
	1 換気量	建築基準法及び建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍を確保		3.0	0.49	4.0	0.33		
	2 自然換気性能	自然換気有効開口面積を居室床面積の1/15以上確保		3.0	0.01	4.0	0.33		
	3 取り入れ外気への配慮	-		1.0	0.49	1.0	0.33		
	4.3 運用管理			4.9	0.20	-	-		
	1 CO ₂ の監視	-		3.0	0.02	-	-		
	2 喫煙の制御	ビル全体が禁煙		5.0	0.98	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1	
1	機能性			3.8	0.40	3.0	1.00	3.5	
	1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60		
	1 広さ・収納性	-		3.0	0.01	3.0	0.50		
	2 高度情報通信設備対応	-		3.0	0.01	3.0	0.50		
	3 バリアフリー計画	-		3.0	0.97	-	-		
	1.2 心理性・快適性			4.9	0.30	3.0	0.40		
	1 広さ感・景観	-		3.0	0.01	3.0	0.50		
	2 リフレッシュスペース	-		3.0	0.01	-	-		
	3 内装計画	内装計画と照明計画を一体で計画インテリアベースにて検証		5.0	0.97	3.0	0.50		
	1.3 維持管理			4.0	0.30	-	-		
	1 維持管理に配慮した設計	床面・内壁面に防汚性の高い仕上を採用		4.0	0.50	-	-		
	2 維持管理用機能の確保	バルブ、天井隠蔽機器等の調整・点検の為に適切な点検口を設置		4.0	0.50	-	-		
2	耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0	
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-		3.0	0.80	-	-		
	2 免震・制震・制振性能	-		3.0	0.20	-	-		
	2.2 部品・部材の耐用年数			3.4	0.30	-	-		
	1 躯体材料の耐用年数	-		3.0	0.20	-	-		
	2 外壁仕上材の補修必要間隔	-		2.0	0.20	-	-		
	3 主要内装仕上材の更新必要間隔	ビニールクロス		4.0	0.10	-	-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ガルバリウムダクトを使用		4.0	0.10	-	-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	VP管		5.0	0.20	-	-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔	-		3.0	0.20	-	-		
	2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-		
	1 空調・換気設備	-		3.0	0.20	-	-		
	2 給排水・衛生設備	-		3.0	0.20	-	-		
	3 電気設備	-		3.0	0.20	-	-		
	4 機械・配管支持方法	-		3.0	0.20	-	-		
	5 通信・情報設備	-		2.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		2.8	0.30	2.7	1.00	2.7
3.1	空間のゆとり		3.6	0.01	2.4	0.50	
1	1 階高のゆとり	共用部階高平均3.73m	4.0	0.60	2.0	0.60	
2	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2	荷重のゆとり		2.0	0.01	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		2.8	0.97	-	-	
1	1 空調配管の更新性		1.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性	空配管設置により仕上材を傷めずに更新・修繕が可能	5.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2	2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	2.5
1	1 建物外皮の熱負荷抑制		2.6	0.20	-	-	2.6
2	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	2.7
	集合住宅以外の評価		2.7	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	4 効率的運用		2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
4.1	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.9
1	1 水資源保護		4.2	0.20	-	-	4.2
1.1	1.1 節水	自動水栓・節水型便器使用	4.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		4.4	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	全体の過半以上を井水利用している	5.0	0.70	-	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
2.1	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材及び再生骨材のリサイクル資材を採用	5.0	0.22	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	全ての躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.22	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		4.3	0.20	-	-	4.3
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	壁紙用接着剤	5.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	1 消火剤		-	-	-	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=1	5.0	0.50	-	-	
3	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率は一般的な建物の77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	3 交通負荷抑制	敷地外への共同駐車場を設置	5.0	0.25	-	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	1 騒音		3.0	0.50	-	-	
2	2 振動		3.0	0.50	-	-	
3	3 悪臭		-	-	-	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	総合効率の高い照明の採用、広告物照明は行わない	5.0	0.70	-	-	
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版・追補版

(仮称)るり湯温泉ホテル

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	2.0	○	○	○	○	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0		○	○	○	-	○	-	-	○	-	○	○		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	9.0			○		○	○	-	○	○	○	○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	○	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		2.0	2.0	-	2.0	-	2.0	-	-	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0		○	○	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	4.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	12.0		1.0	-	3.0	3.0	2.0	1.0	-	-	1.0	1.0			
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		-	-	1.0	1.0	1.0	1.0							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											
主な指標															
Q1 室内環境															
2.1.3 外皮性能	窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム 4.8 屋根 0.4 外壁 0.7 床 0.6 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH - 昼光率 2.4% 自然換気有効開口面積率 6.7%														
3.1.1 昼光率	執務スペース 0㎡ /人 側床 0㎡ /床 シングル 0㎡ ツイン 0㎡														
4.2.2 自然換気性能	コンセント容量 0.0 VA/㎡ 天井高 0 m リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0% 想定耐用年数 0 年 想定必要間隔 0 年 2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 0 年 2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 15 年 2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔 0 年														
Q2 サービス性能															
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 0㎡ /人 側床 0㎡ /床 シングル 0㎡ ツイン 0㎡														
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡														
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m														
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%														
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年														
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年														
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 15 年														
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年														
3.1.1 階高のゆとり	階高 3.2 m														
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 41.0%														
3.2 荷重のゆとり	床荷重 4000 N/m2														
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 33% 建物緑化指数 0%														
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 78% 水平投影面積率 4% 地表面対策面積率 27% 舗装面積率 49%														
LR1 エネルギー															
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m 0.98 断熱等性能等級 対象外 相当														
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 80.0% 採光を満たす住戸数 80.0% 通風を満たす教室数 80.0% 通風を満たす住戸数 80.0% 太陽光 0kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW														
3 設備システムの高効率化	BEI/BEI _m 再エネ有 0.72 無 0.72 オフサイト再エネ有 0.70 無 -														
非住宅部分	一次エネルギー消費率 再エネ有 無 -														
集合住宅の評価															
LR2 資源・マテリアル															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 52.1%														
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 ビニル系床材 エコマーク商品 再生骨材 自治体指定の特定品目等 -														
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%														
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)														
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)														
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 16% 隣接間隔指標Rw 5.73 地表面対策面積率 32.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積S _b 579㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 81.41 m 基準高さH _b 44.4 m 緑地 2.396㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 200㎡ 再帰性反射対策面 ㎡														